

岡山大学物品・役務等契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成 30 年 9 月 13 日 (木) 岡山大学旧事務局庁舎 2F ミーティング室	
委員 (敬称略)	委員 長 荻田 昌 (第 1 号委員) 委員 岩佐 和則 (第 2 号委員) 委員 作花 知志 (第 3 号委員)	
審議対象期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	
審議案件	6 件	
	一般競争入札 (最低価格方式)	4 件
	一般競争入札 (総合評価方式)	1 件
	随意契約	1 件
委員からの意見・質問及びそれらに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

別 紙

意見・質問	回 答
<p>高分解能マルチコレクターICP質量分析計の一般競争入札について</p> <p>入札資料請求者は2者で、応札者は1者であるが、競争入札に参加しなかった理由を把握しているか。</p> <p>特殊な機械と思われるが、随意契約の選択肢はなかったか。</p> <p>契約とは違う質問になるが、震災を受け調達が必要となったとの説明を聞いたので、保険などは今後考えられるか。</p> <p>今回調達したメーカーは、前回のものと同じか。</p>	<p>仕様を満たすものが提案できないとの申し出があった。</p> <p>特殊な機械ではあるが、情報収集段階で、要求仕様に該当するメーカーは2社以上と判断していた。</p> <p>保険の話ではないが、損壊の原因となった直下型地震による落下に耐えうるよう、床固定などの対処をしている。</p> <p>結果では同じであった。</p>
<p>引用文献に基づく研究評価ツールの利用の一般競争入札について</p> <p>1者入札となったのはなぜか？他の業者で扱っていないサービスか？</p> <p>同質のサービスを提供できるツールは他にないのか？</p> <p>(予定価格の算出に関する質問があった)</p>	<p>代理店は複数あり、今回は結果的に1者であった。以前の入札に参加した代理店は代理店側の都合（担当者の変更等）で、今回入札に参加しなかったと聞いている。</p> <p>学術論文のデータベースとしては、米国 Clarivate Analytics 社が提供する”Web of Science”が代表的なデータベースであり、文部科学省直轄の科学技術・学術政策研究所も使用している。それを利用した研究評価ツールになると限定される。</p> <p>(回答を行った)</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>岡山大学病院総合診療棟（Ⅱ期）新営に伴う移転作業の一般競争入札について</p> <p>競争参加資格の要件はすべて満たす必要があるか。</p> <p>「病床 400 床以上の、医療業務稼働中の病院における移設作業」「理系もしくは医系の大学又は研究施設において、実験機器等の移転業務」の 2 つの条件設定はどういう意図か。</p> <p>入札資料請求者が 1 者とは、少なくないか。事前に調査したのか。</p> <p>業務の内容からも特殊な案件ではないと思うが、応札業者が 1 者である理由など把握しているか。</p> <p>1 者応札について今後の対応を検討したか。声かけなどで周知はしないのか。</p>	<p>そのとおり。</p> <p>大学病院は、医療機関であり、かつ研究用の機器もあることから、両方の要件が必要である。</p> <p>資料は 2 者に提供した旨聞いているが、記録資料として残してなかったため、この説明資料では 1 者とした。</p> <p>特殊な案件ではなく、多数の入札参加が想定されるものである。</p> <p>今後の対応について、検討までは至っていない。周知方法については、公平性の問題もあるため慎重に検討したい。</p>
<p>岡山大学病院医療補助業務の一般競争入札について</p> <p>「病床 400 床以上」という要求要件があるが岡山大学病院の病床数はいくつか。</p> <p>この契約は単年度か。</p>	<p>およそ 800 床である。</p> <p>3 年間とし、一定期間の継続契約とすることにより人員の雇用をやすく配慮している。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>落札業者は以前の業者と同じか。</p> <p>金額が大きいですが、契約内容では1日の人員は何名くらいか</p> <p>寝具提供業務及びベッドメイキング請負業務を同じ業者と契約しているが、一緒にできないか。</p> <p>岡山大学病院患者給食業務委託の一般競争入札について</p> <p>総合評価を取り入れたという説明があったが、総合評価と価格評価の設定の違いは何か。</p> <p>ほかには総合評価のものはあるか。</p> <p>条件設定について、病床600床以上と厳しく、国の競争参加資格の等級の拡大幅も他の入札と比較して多少狭いが、その理由は何か。</p> <p>競争参加資格にある「業務代行保証人」とは何か。</p> <p>「日本メディカル給食協会」は、そのような場合の代行をする業者か。</p>	<p>同じである。</p> <p>仕様では39名である。</p> <p>医療業務補助は外来の窓口などの業務で、寝具及びベッドメイキングは入院棟の業務であり、場所も業務内容もまったく異なるものである。</p> <p>一概に安ければよいというものではないものに総合評価を設定している。</p> <p>病院ではほかにはない。</p> <p>重要な業務であるため、リスク面も考慮している。</p> <p>契約業者が業務遂行できない事態のための保証制度があり、リスク面の理由で資格を要求している。</p> <p>そのとおり。</p>

別 紙

意見・質問	回 答
<p>技術審査とは何名で、構成員はどのような立場か。</p> <p>OncoPrime がん遺伝子検査の随意契約について</p> <p>「OncoPrime がん遺伝子検査」が随意契約となる理由を詳しく説明してもらいたい。特許関係の理由ではないのか。</p> <p>米国への検査委託ではないのか。</p> <p>がんゲノム医療中核拠点病院となり、こういった検査は増えていくのではないか。自費診療と説明を受けたが、安くならないものか。</p> <p>年間何件程度か</p> <p>総評 (委員会所見)</p> <p>今回の委員会にて審議した競争入札は、無作為抽出したにも関わらず、すべてが一者入札であった。手続面での問題はなかったが、財政面の観点から、一層の競争を促し、多数の参加が見込まれるような工夫をさらに意識して進めていただきたい。</p>	<p>7名である。臨床栄養部、ドクター、看護部、事務部など複数の部門関係者が審査する。</p> <p>遺伝子情報を契約相手方が所有し、他業者に提供することがないためである。特許ではない。</p> <p>米国の検査と契約業者の情報の両方が必要な業務である。</p> <p>いつも当該検査を利用するのではない。患者さんによって、必要な遺伝子情報は異なり、安価な遺伝子検査もある。複数ある遺伝子検査のうちから医師が適切なものを判断している。</p> <p>契約時の想定は年 10 件を見込んで行っている。患者さんの傾向により実際は増減幅がでてくる。</p>